

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかりふかがわ（放課後等デイサービス）		公表日		2025年 3 月 31 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・棚やマット等でスペースを分けて工夫している。	・環境を整え見直しをしていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	・職員配置数は適切である。	・利用人数やこどもの特性、個別対応がある場合は、配置数が少ないと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・視覚支援ツールやバリアフリー化等、適切である。	・視覚支援ツールはわかりやすいものが必要と感じる為、改善していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日こども達が掃除を行っています。 ・静と動の活動にあわせたスペース確保し、バリアフリー化も整っている。	・毎日こども達も掃除を行っているが、清潔を保つよう心掛けている。 ・静と動の活動にあわせたスペース確保している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・気持ちを落ち着くようクールダウンや話し合いをする場所として使用している。	・相談室を利用しているが、静かになりたい時の個室空間があると尚良い。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・朝の朝礼でPDCAサイクルを意識した話し合いを職員全体で行っている。	・いつでも話し合いができる場を設け情報共有し、支援を統一していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者様からの評価表や意向等を機会を設け、参考にし業務改善に繋げ努めている。	・今後も、ご意見等頂けるよう信頼関係を築いていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・繋げている。	・朝礼や事業所会議等の場を活用し、意見を吸い上げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・外部評価を行った事はありません。	・外部評価によって、よりよい改善に繋がるのであれば、今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・職員の全体研修、各委員会等で研修を開催し、また外部研修にも随時職員が参加している。	・支援の質の向上ができるよう努力する。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	・作成中で整えている。	・作成が整え次第、公表していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・保護者様と面談する場を設け、こどもの様子を伺い分析した上で、計画を作成している。	・今後も送迎や面談する場を設け、こどもの様子をしっかりと分析していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・職員全体で会議等をし、理解をしている。	・様々な意見を出し合う場を設け、検討する。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・職員間で共有し計画に沿った支援をしている。	・統一した支援ができるようにする。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・日々行動観察等の記録を記載している。	・今後も様子等、記録に残すように心掛けていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・放課後等デイサービス計画では、4本立てを基本とし、必要な項目に沿って適切に設定をしている。	・ガイドラインに沿って行う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・職員全体で話し合いを行っている。	・個人で行う時もあるが職員で相談し、よりよいプログラムになるよう心掛けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・工夫をしている。	・利用者の意見等も聞き取り反映し、楽しく通所できる工夫を今後も行っていく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・支援を行っている。	・全体での集団活動や余暇等を過ごす個別活動も交えながら取り組みをしている。	

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝礼等で必ず打合せをし、内容や役割分担を確認している。連携を図るように心掛けている。	・隙間時間でも支援について検討する場を作る。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・支援終了後には打合せはしていないが、翌日の朝礼等で反省や振り返りし、各々意見交換等をし、共有している。	・職員間で話し合う場を設け、様々な要件について意見等を言い合える環境づくりをしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・日々の支援や行動等の記録を取る事し、検証や改善等に繋げている。	・振り返りができるよう記録を細かく記載するように徹底している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年に一度はモニタリングを行い、計画の見直しをしている。	・適切な見直しをしっかりと行い、検証し修正をする。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	・支援を行っている。	・ガイドラインに沿って行う。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・活動内容にもよるが、支援を行っている。	・自分で考える力を育てる支援をしていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児童発達支援管理者や担当職員等、それぞれ状況を理解した職員も対応している。	・今後も関係機関等と連携を取っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・関係機関等と連携し支援を行う体制を整えている。	・今後も関係機関等との連携を取っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・学校と情報共有や連携等、適切に行っている。	・今後も各学校との情報共有や連携を図りながら支援していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・相互理解に努めているが、場合によっては相談支援事業所からの情報も聞き取る事もある。	・幼児期の様子をしっかりと把握し、放課後等デイサービスに繋げていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	・現在学校を卒業し移行した経験が無い。	・このような場合があった時は、支援内容やこどもの様子等の引継ぎをしっかりと行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・児童発達支援センターとの連携やスーパーバイズの助言等を受ける機会を設けていない。	・当事業所の横の繋がりが有る為、様々な指導員からの助言を頂いている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・活動する機会が無い。	・今後機会があれば検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・参加している。	・今後も積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎する機会があるので、常に様子等話し合える場があるので、伝えあう環境が整っている。	・いつでも面談や相談を受け入れられる体制を整え、場所を設ける。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・家族等の参加できる研修は設けていないが、気軽に参加できる保護者会（茶話会）を設けている。	・保護者様と職員が同じ方向性の支援が統一できるように行う。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	・丁寧な説明を心掛けている。	・今後もわかりやすい言葉で話していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・設けている。	・こどもや保護者様の意思を確認した上で、作成し反映していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・保護者様から同意を得ている。	・モニタリングで説明し、アセスメントでしっかり聞き取り、計画の支援内容の説明をしている為、今後も細かな聞き取りし、反映させていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・必要な応じて面談等の支援を行っている。	・いつでも面談や相談を受け入れる体制ができるよう工夫している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・保護者会（茶話会）を開催している。また、親子レクを企画し兄弟参加も設け交流に繋げている。	・今後も交流できる機会を設定していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・いつでも相談や苦情等があれば受け入れ、迅速・適切に対応をし解決に繋がるよう心掛けている。	・起こってしまった状況を把握し保護者様へ迅速に伝え対応し、不快感に繋がらないように努めていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・ひかりだより、HP、SNS等を活用し、ひかり全体の活動内容を発信している。	・ひかりだよりは月1で発行し、インスタグラムも週1でアップされている。ひかり全体の活動内容がわかるようになっている。

保護者への説明等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・留意している。	・今後も個人情報の取扱いに徹底し継続していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・配慮している。	・今後も継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・事業所の行事等で地域住民を招待した事は無い。	・今後は事業所を知る機会として検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各マニュアルを策定し、発生を想定した避難訓練として実施している。	・ひかりだより等を活用し、様々な訓練を行った情報を伝えていく。また、保護者様も交えた訓練を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・BCPは策定中であり、定期的に想定内容を変えながら、必要な訓練を行っている。	・お子様や職員の命を守り、避難できるよう訓練していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・状況を確認している。	・様々な状況を保護者様から確認し、状況を把握している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・保護者様からしっかりアレルギーの内容を聞き取り、確認している。 ・医師の指示書までの確認はしていない。	・アレルギーの内容によっては医師の指示書が必要になる可能性があるため、対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・AEDの講習や消防署職員からの救命講習や訓練を受けている。	・今後も専門の方より研修や訓練を受け、安全管理に努めていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・安全計画については無いが、家族との連携が図れるようにしている。	・安全確保について、しっかり職員間で共有できるようまとめておく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2	・検討している。	・記録に残し再発防止をしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・職員での全体研修、外部講師による研修に随時職員が研修を受けている。	・研修に参加した職員は、チーム全体に研修報告をし周知している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・記載している。	・個別支援計画等に記載し保護者へ説明している。	